

裁判員等経験者の意見交換会 開催概要

名古屋地方裁判所では、令和4年10月20日(木)に、当庁にて裁判員等(裁判員または補充裁判員)経験者との意見交換会を開催しました。当日は裁判員等経験者4名に御参加いただき、法曹三者(裁判官・検察官・弁護士)と活発な意見交換が行われました。その中で裁判員等経験者からいただいたご意見・ご感想を一部紹介いたします。



裁判員等として裁判員裁判に参加された感想や印象をお聴かせください。

- 若い人こそぜひ経験してほしい。人生が変わる良いきっかけになると思う。
- 人の人生を決めてしまうこともあり、裁判員等になることに不安もあったが、上司の後押しもあり参加した。裁判員等として経験することで自分の人生も変わる良い機会であった。
- 裁判官の人柄を見ることができ、親近感を持つことができた。自分なりに意見を言いやすい環境だった。
- 裁判員候補者に選ばれたという通知が届いたときには、せっかくならやってみたいと思っていたので、経験できてよかった。



来年から18歳、19歳の方も裁判員になることができますが、若年層の参加への不安を解消するために、裁判所は何をすべきだと思いますか。

- 裁判員等の経験は目に見えるメリットはないかもしれないが、人生においてとても貴重で良い経験だった。それを伝えていくことが必要だと思う。
- 法教育を充実させる必要がある。社会科の一コマでもいいので法廷見学や法廷傍聴を経験することで、裁判所や法律が身近に感じられると思う。5年後、10年後を見据えた草の根活動が重要である。
- 若い人が萎縮して意見が言えないことを防ぐためにも、裁判官が質問順序を変えるなどの配慮をする必要がある。



これから裁判員になられる方へのメッセージをお願いします。

- 裁判員を経験したくても、当たらなければ経験することはできない。だからこそ通知が届いたら、前向きな気持ちで臨んでいただきたい。
- 個々の意見を出し合い、一つの結論を出すことは貴重な経験であり、やってみて良かった。せっかく機会があるなら、是非参加して経験していただきたい。

ご参加いただいた皆様、

貴重なご意見をありがとうございました。